

2023年度 ポータルラボ 事業所における評価結果（公表）

職員数 4名 回収数 4部 回収率 100%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	4	0	0	国で定められた設備基準を満たしています。限られたスペースの中で、安全に活動できるよう工夫をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	4	0	0	職員の配置基準は満たしています。登録人数も増えてきたため、今後は人員増も検討しています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮がなされているか	0	4	0	テナントのため事業所玄関前の段差については難しいです。室内は段差はありません。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	4	0	0	個別支援計画会議やヒヤリハットの検証、ケース会議等に職員が参加し、情報共有や話し合いを行い、改善に努めています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用することによりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	4	0	0	事業所評価の結果の活用のほか、日頃から保護者様にご意見を伺いながら、業務改善に努めています。
	⑥	この事業所評価の結果を事業所の会報やホームページ等で公開しているか	4	0	0	ホームページで公表しています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	0	0	4	第三者による外部評価は実施できていません。今後検討していきたいと思えます。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	4	0	0	内部および外部の研修の機会を設けています。
適切か	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	毎回の支援記録や担当職員から子どもの活動の様子を確認し、面談等で保護者様にお話を伺いながら、計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	4	0	0	アーチルや医療機関で行った発達検査の結果や適応行動尺度等で行動状況を把握しています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	0	活動のねらいや目的について、職員間で共有しながら、プログラムを作成しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないように工夫しているか	4	0	0	週替りの課題を作成し、季節の行事などを取り入れた活動を設定しています。個々の活動については特性に配慮しながら、新しい遊びの提示などを行っています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	4	0	0	個別のスケジュールを作成し、予定に沿って活動できるように支援を行っています。

は 支 援 の 提 供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	0	0	課題活動や自由遊びの時間にそれぞれの機会が持てるように計画を作成しています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合せをし、その日行われる支援の振り返りを行い付いた点等を共有しているか	4	0	0	支援前にミーティングを行い、子どもの状況、滞在時間や個々の活動の確認、留意事項、役割分担の確認などを行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	4	0	0	終了後にその日の振り返りを行っています。次回の来所時に留意することや、ヒヤリ・ハットについて確認をしています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	0	0	支援の状況、子どもの様子、支援目標に対しての評価を記録し、検証を行っています。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	4	0	0	定期的モニタリングを行い、目標に対しての評価を確認し、計画の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	4	0	0	ガイドラインの内容に沿って、日常生活に関する内容や、社会生活、コミュニケーション、創作活動や運動、遊びなどの活動を行っています。
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	4	0	0	管理者・児童発達支援管理責任者が出席しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行なっているか	4	0	0	担当者会議での情報共有の他、必要に応じて連絡調整等を行っています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0	4	0	現在、医療的ケアが必要な子どもの利用がありません。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	0	子どもの状況により、担当者会議等での共有を行っています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	0	0	学校や相談支援事業所を中心に行われる移行支援会議等に出席し、支援内容等について情報を提供しています。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	0	0	現在は連携の機会がありませんが、必要に応じて、相談や情報共有を行いたいと考えています。センター主催の支援者向け研修は受講しています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	0	4	障害特性や諸事情から、子ども本人や保護者が交流を望まないケースがあり、交流については慎重に検討しています。
㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	4	0	0	今年度は予定が合わず参加できませんでしたが、毎年実務者ネットワークには参加しています。次年度も参加したいと考えています。	

	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	0	0	お迎え時や定期的な個別面談の他、日頃からLINEやメールを活用し、ご家庭・学校でのお子さんの様子、事業所での様子について情報共有を行い、課題について共通理解を図っています。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	4	0	0	子どもの対応について、特性に配慮した具体的な関わり方などをお伝えしています。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	4	0	0	契約時に説明を行っています。不明な点がある場合には、丁寧にお伝えしています。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	0	0	話を伺って、状況や背景を確認し、具体的な方策について提案し、一緒に考えるなどの支援を行っています。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	4	0	0	年1回以上保護者会を実施しています。ご自宅でも参加できるように、会場とオンラインのハイブリッド開催をしています。歓談の時間を設けるなど、保護者同士が情報交換できるようにしています。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	4	0	0	苦情解決の体制については、契約時に説明を行っています。これまでに、苦情等はありませんが、苦情等があった場合には担当者が適切に対応してまいります。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	4	0	0	毎月1回ポータルラボ通信を発行し、活動の様子や連絡事項をお伝えしています。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	4	0	0	個人情報につきましては、鍵付きの書庫に保管しています。情報の取り扱いについては十分注意するよう、職員にも周知しています。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	4	0	0	子どもの特性に配慮し、必要な情報は視覚化して伝え、本人の理解に合わせた提示を行い、意思確認をしています。保護者には、直接お話しする他、連絡帳、電話、メール、LINE等を活用し、情報を伝えています。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を行っているか	0	0	4	行事の招待等は行っていませんが、学生ボランティア等の受け入れを行っています。
	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	4	0	0	マニュアルを作成し、周知を行っています。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	4	0	0	年2回避難訓練を実施しています。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	0	年2回以上虐待防止研修を実施しています。

非常時等の対応	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	4	0	0	身体拘束は行っていません。やむを得ない場合（利用者本人、または他の利用者の生命、身体、権利が危険さらされる可能性は著しく高い切迫性が見られ、行動制限をする以外に代替する方法がない場合）に、一時的に行い、記録をすることを職員の共通認識とし、個別支援計画に記載しています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がなされているか	4	0	0	現在は対象児がおりません。必要に応じて、適切に対応してまいります。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	4	0	0	危険な事例があった場合にはヒヤリ・ハット報告書を作成し、ミーティングで共有しています。事実確認を行った後、要因や今後の対応策を話し合っています。